



日通商事株式会社 扇島LSセンター 雇用事例紹介



株式会社ビームス ロジスティクス本部 南砂センター 見学

✔ 考えても出てこない。

当社ロジスティクス・サポート事業部は海外へ輸出する設備や部品を安全に輸送する為の輸出梱包業務を行っています。障害者雇用の必要性は前々から認識していました。しかし、何から始めれば良いかわからず、インターネットで検索し、企業応援センターかわさき（以下：応援センター）を知り、

すがる思いで訪問しました。「川崎駅からバスで40分と決して立地の良くない場所で、障害者雇用に何か必要ですか？」と尋ねました。応援センターの職員の方からは「何をやらしてもらったら助かりますか、そこから仕事を創りだしましょう」と提案がありました。2019年10月のことでした。

仕事の創り出し、業務スケジュールの作成

翌週には当LSセンターに、応援センターの職員の方が来社され、業務内容を見てもらいました。仕事の創り出し方法では、各課ごとに業務内容を書きだして、難易度を表記すること、業務スケジュールの作成について教えて頂きました。

今まで障害者の方と仕事をする機会がなく、一日にどれくらいの仕事ができるのかすら分かりません。求職者の多くは、精神疾患の方と伺い、コミュ

ニケーションや安定した勤務ができるのか更に不安が募ります。

2019年11月に川崎市障害者雇用促進ネットワーク会議に参加して、就労移行支援事業所の見学や障害者雇用に関わる助成金制度等の説明を受けました。2020年3月には応援センターに再度設定して頂き、2か所の支援機関を訪問し、通所している方々と会話する場を設けて頂きました。雇用に向けて社内での意識が高まりました。

神奈川障害者雇用促進センターによる出前講座の提案があり、3月に実施する予定でした。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出に伴い、延期となり、6月に管理者向け・現場職員向けとそれぞれ実施して頂きました。分かりやすい説明で、障害者ごとの特性や障害者との接し方、配慮事項などの理解が深まり、障害者雇用に向けて希望が見えてきました。

自分たちが知ることから

特例子会社の株式会社湘南ゼミナールオーシャンに訪問し、精神疾患の方が就労している様子を拝見、K-STEPの活用方法を教えて頂きました。

“Happy Life Solution Company”を掲げ、果たすべき役割のひとつとして障害者雇用を進めている、株式会社ビームス ロジスティクス本部南砂センターに訪問し、精神疾患の方、聴覚障害の方、知的障害の方から話をうかがいました。皆さんが気持ちよく仕事をしている様子を見て、LSセンターで障害者雇用が本当にできるのか？と悩んでしまいました。

7月に職場見学会を支援者向け、就

労希望者向けと開催して、職場体験実習を実施することになりました。実習を始める前に、受け入れる予定の社員に対して、簡単なレクチャーを行って頂きました。職場実習を9月に行い、実際に実習を受け入れたことで、一日の業務量や、指示の出し方、マニュアルの作り方、支援機関との対応の仕方が分かりました。残念ながらこのときは縁がありませんでした。すぐに応援センターの職員の方に来社頂き、課題を整理しました。11月～12月に2回目の見学会と職場体験実習を実施し、採用面接を経て1名の採用が決定しました。2021年3月から就労しています。

就労者より

初めての就職で緊張しましたが、皆さんがとても優しく、分からないことがあったら、丁寧に教えてくれます。会社の方や就労移行支援事業所の支援員のサポートがあって、働くことができています。



提案おい境方度かり取成長一等、雇用職の身しま1年等出しかこ自して
案せそすをが等たの獲長緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
してて、ま作がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
ようも、つっく活をすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
仕この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
組の、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
み経、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
作他、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
験部、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
を署、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分
を生に、この、てき用がをすだののに緒緒、事用皆員たのしま年半もにした、から分



採用担当者様より

神奈川障害者雇用促進センター 出前講座

